

令和6（2024）年度 A-LAB Artist Gate '24 出展アーティスト 募集要項

1 趣旨

尼崎市が運営するアートスペース「A-LAB」において、新鋭アーティスト発信プロジェクト「A-LAB Artist Gate '24」を開催します。

本プロジェクトは、今後活躍が期待される若手アーティストによるグループ展として毎年開催しているもので、9回目となる今回は令和6（2024）年春に大学・専門学校を卒業予定、または大学院を修了予定の方を対象とします。

平成28（2016）年に初開催して以来、これまで54人のアーティストを紹介してきました。本展が若手アーティストたちの本格的な作家活動の一步となり、今後大きく羽ばたいていくことを期待しています。

2 対象者

令和6（2024）年の春に、関西（大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県）の大学や専門学校、大学院の芸術分野を卒業・修了予定で、今後もアーティスト活動を継続希望の方

3 選考方法

公募による自薦・他薦およびA-LABアドバイザーによる推薦のあった候補者の中からA-LABアドバイザー選考会の意見を聞いて、出展アーティストを決定（6～8人程度）

4 応募方法

「A-LAB Artist Gate '24 候補者推薦書」に必要事項を記入の上、下記受付期間内にメールまたは持参・郵送にて提出

<受付期間>

令和6（2024）年1月4日（木）から2月26日（月）まで（午後5時30分必着）

<提出先>

持参・郵送：（公財）尼崎市文化振興財団 文化課美術担当

〒660-0881 尼崎市昭和通2丁目7-16 3F

時間：午前9時～午後5時30分、火曜休館

メール：bunka@archaic.or.jp

5 提出書類・資料

以下の2点について、メールの場合は各1ファイル、郵送の場合は各2部を提出

（1）A-LAB Artist Gate '24 候補者推薦書

（2）これまでの作家活動がわかる資料（ポートフォリオ、データ等）

- ※資料例 ・過去に制作した作品や展示風景の記録写真（または画像データ）
・過去に参加した展覧会やイベントのフライヤー等
・その他活動の内容がわかるもの

※原則として、ご提出いただいた資料は返却できません。

※添付ファイルが 5MB 以上になる場合、ファイルアップロードサービス等を利用し送付ください。

6 スケジュール（予定）

令和 6（2024）年 2 月 26 日（月）	応募締め切り（午後 5 時 30 分必着）
3 月中	出展者決定、選考結果通知
4 月 10 日（水）	フライヤー及びプレスリリース掲載情報提出締切
5 月 4 日（土）～5 月 22 日（水）	搬入・展示、インタビュー動画撮影等
5 月 25 日（土）～6 月 30 日（日）	展覧会
7 月 1 日（月）～7 月 7 日（日）	搬出

7 問い合わせ先

（公財）尼崎市文化振興財団 文化課美術担当

〒660-0881 尼崎市昭和通 2 丁目 7-16 3F

電話：06-6487-0806

メール：bunka@archaic.or.jp

時間：午前 9 時～午後 5 時 30 分

休館日：火曜、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

※A-LAB の運営は尼崎市からの受託事業です。

※参考

<展覧会出展条件>

- ・出展謝礼は 30,000 円（税込）の予定です。
- ・展示場所は主催者が決定します。
- ・原則として卒業・修了制作展で発表した作品をご出展いただきます（出展できない場合は選考結果通知時にお申し出ください）。
- ・作品のブラッシュアップや展示方法の変更等にかかる経費は自己負担となります。
- ・展示壁面の造作や展示什器類が必要な場合は事前にご相談ください。
- ・搬入・展示期間中のインタビュー動画撮影、展覧会期間中のトークイベントへの参加にご協力ください。
- ・展覧会期間中は出展作品の販売はできませんのでご了承ください。

<A-LAB アドバイザー>

【おかけんた氏】

芸人
アートプランナー

【後藤 哲也氏】

デザイナー
近畿大学文芸学部文化デザイン学科准教授／大阪芸術大学客員教授

【中田 秀人氏】

アニメーション作家／映像制作チーム「ソバットシアター」代表
京都精華大学芸術学部映像コース、京都コンピュータ学院非常勤講師

【原 久子氏】

アートプロデューサー
大阪電気通信大学教授

【吉川 直哉氏】

写真家
大阪芸術大学写真学科教授／神戸松蔭女子学院大学非常勤講師

<A-LAB について>

使用されていなかった公民館をアート発信基地にリノベーションし、平成 27（2015）年秋にオープン。若手～中堅アーティストの展覧会を開催。アーティストの発表・創作の場として活用することで、子どもたちを始めとする市民が芸術に気軽に触れ、体験できる身近な施設を目指しています。

HP: <http://www.ama-a-lab.com/>